

令和7年度 事業計画

共同募金運動は、募金活動や地域福祉活動へ参加することで、人のつながりや地域での支え合い・助け合いを拡げていく役割があります。

募金を通じて、地域における「たすけあい」活動を活性化し、地域の福祉力を高めることにより、身近な地域での支えあいの活動を推進します。

芦屋市共同募金委員会では、理解・共感を得られる募金活動となるよう、募金の趣旨や役割のPR方法の工夫に努め、よりわかりやすい広報に努めます。特に子育て世代や働き盛りの世代などの新たな協力者・寄付者層の開拓等、運動の積極的な展開を図ります。そのために、マンション管理組合を含む自治組織への周知啓発と理解の促進に取り組めます。

また、共同募金運動が、「支え合い・助け合いの仕組み」として、住民主体の取り組みとなるよう「担い手(寄付者側)」と「受け手(受配者側)」双方が連携して共同募金運動へ参画し、お互いの力で地域活動を推進できるよう努めます。

区分	取組項目	具体的な内容
配分	福祉ニーズに対等した配分	市社会福祉協議会に対し生活・福祉ニーズに対応した配分計画の策定に向け働きかけます。
広報	理解・共感 を得られる広報	生活・福祉課題への理解と支援活動への共感を得て募金に結びつくよう、 広報紙の作成やPR方法を工夫します。
		積極的に地域に出向き、自治会や福祉関係団体等への協力依頼を強化 します。共同募金の活用方法についてもニーズを把握します。
募金	丁寧なお礼	学校園・募金箱設置施設等、募金活動への協力者に向けたお礼状を発行しま す。
	多様な募金方法	インターネット募金など多様な募金方法の実施に向けた取り組みを進め、募金 活動に協力いただける機会を積極的に提供し、寄付者の能動的な募金を促し ます。
	新たな募金方法・ 寄付者層の開拓	市内の法人、商店等での募金箱の設置協力を依頼します。
		市社会福祉協議会から助成を受けた事業を実施する際に募金の周知をする など募金活動を通じたつながりの強化を進めます。
	子育て世代や働き盛りの 世代への働きかけ	市内学校へ学習の機会を設け、共同募金の理解を高めると共に、主体的 に募金活動に参加することを推進します。
		子どもが興味を持ちやすいガチャガチャ募金を通して共同募金を知ってもら い、子どもだけでなくその保護者にもPRする。
組織	募金活動者への丁寧な説 明・協議	新たな募金協力者へ丁寧な説明をし、募金活動への理解・共感を得られる よう努めます。また、意見交換・協議に取り組み、募金活動の活性化を図り ます。
	社協職員への意識強化	街頭募金や資材配布先への協力依頼などに社協職員に協力を呼びかけ、共同 募金に対する社協職員の意識向上を図ります。